

南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会 概要

日 時	令和5年1月28日（土）10時00分から11時30分まで	
場 所	五郷小学校 体育館	
参加者	49名	
事務局	12名	
	教育部長	中村 一之
	教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
	学校教育課課長	伊藤 信博
	学校教育課主幹	宮内 智之
	教育総務課長補佐	小安 宏尚
	教育総務課学校再編推進室室長	大橋 康博
	教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
	教育総務課学校再編推進室主事	根本 亮子
	教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
	教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
	都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
	土木管理課長	本間 一裕

1 開会

2 あいさつ

中村教育部長からあいさつ

3 説明

説明会資料に基づき、茂原市学校再編第二次実施計画策定までの経緯、第二次実施計画の概要、通学道路の整備計画（案）、南中学校の土砂災害対策における計画（案）、今後の早野中学校の生徒数（見込み）及び早野中学校の状況等を説明した。

4 質疑応答

（住 民）ひとつは、五郷地区は早野中、五郷小、五郷幼稚園といった学校があり、昔から非常に賑わった地域である。市としても、そのような地域を目指して学校を設置してきたと思う。今度、少子化で南中に行くということだが、なぜこちらから南中の方に移動するのか。南中の生徒が早野中に来るという逆のパターンもあったと思うが、いかがか。早野中も耐震化しており、グラウンドも非常に広い。

また、もうひとつは、決まったことなので致し方ないと思うが、早野中の生徒が3年後に消えてしまうと。五郷地区、早野地区は地域の高齢化が非常に進んでおり、約6割の方々が60歳を超え、一人住まいもいる。グラウンドの子供たちの声を聞いて、生きがいを感じている。地域と子供たちとの交流もあると思う。過去に五郷中がなくなり、五郷幼稚園もあつという間に荒廃して草がぼうぼうになっている。3年後に早野中の生徒がいなくなり、五郷小も危うくなって荒廃していくとなると、統廃合してしまっても良いのかという考え方もある。南中学校区の地域も同様の考えがあるとは思いますが、今後はこの地域をどうするのかというところも考えていただきたい。

（事務局）まず、過去に五郷中と鶴枝中が統合し、今の南中学校の前身となった。その後、南中学校の生徒数が増えた関係で、南中学校から分離し、早野中学校を設置した経緯がある。南中学校の方は、教室数が25と非常に多く、今の校舎は早野中学校ができた後に建設されていることもあり、南中学校の校舎を使用したいとの考えである。最終的に審議会の中で協議し、南中学校を使用校舎とする旨の答申をいただいている。

また、実際に統合を進めていると、地域から学校がなくなり、子供たちの声（が

聞こえなくなる)といったことや、地域が寂れていくといった同様の意見をいただく。学校がなくなるのは、やはり地域にとっても影響が大きいというところだと思う。ただ、先ほど説明があったように、教育委員会としては、子供たちがたくさんの友達と一緒に、色々なことを学び切磋琢磨できるように進めていかなければならないと思っている。その中で、どうしても学校の統廃合をしないといけないということで、学校再編を行っている。

ただ、市として学校の施設は残して(行政需要がない場合)貸付を行い、地域の活性化に繋がるような方向で跡地利用を考えていきたいという方針である。

(住 民) 今回の計画で大きな問題として、通学路といった交通安全と中学校の崖崩れといった防災対策があると思う。これ以外に何か問題点として認識しているものはあるか。

(事務局) 今、私どもの方で一番注視しているところはこの通学路と崖の問題になる。このことに対しては十分対策を行っていく。あと、統合すると子供たちの環境が変わるため、学校も含めながら、子供たちがより良い教育環境を享受できるような形で進めていきたい。

(住 民) 日立茂原ができたころは茂原が大変繁盛していた。働く場所があり、若い人が住んで人口が増えるということが一番大事なところだと思う。茂原市に人口を増やして、将来的にどのようにしていくかを考えることが重要だと思う。5~10年先は、茂原の子がどんどん減るので、学校も減らさなければいけないというのは愚策だと思う。我々が今まで育んできた歴史のあるまちなので、茂原市の未来を考えてやっていただきたい。ぜひ次回の住民説明会では教育委員会の人間だけではなく、例えば子供の関係とか他の部署の方も一緒に来ていただき、市全体として今後の人口減にどう対処していくかという説明をしてほしい。単純に学校再編で減らすだけではなく、今度この辺に新しく学校を建て直すぐらいの形をやっていただきたい。

(事務局) 茂原市だけではなく、いま日本全国で人口が減少している。その中で、茂原市としては総合戦略という計画を立てて、まず働く場の確保として、いはる工業団地の整備等を行い、企業誘致に努めている。併せて、若い世代が子育てしやすい環境の整備として、五郷地区では五郷小の隣にこども園が整備されたが、子育てしやすい環境の整備にも努めている。また、にぎわいの創出としてロケの誘致等にも取り組み、安全の確保の面から河川整備等にも力を入れている。このようなことを組み合わせ、市役所全体で人口減少を何とかして止めようと一丸となって進めている。

また、具体的な人口減少の内容として、いわゆる社会増減と自然増減という考え方があるが、転入転出だけで見ると、茂原は去年から今年あたりは増えている。なぜ減っているのかというと、お年寄りが多く、生まれるよりも亡くなる方が多いという状況にあるためであり、これは全国的な傾向である。茂原市で、特に中心部の旧の茂原町の中は、実は人口が増えている。一方で、本納、豊岡、新治、二宮、この五郷や鶴枝等の、駅から離れた地区は、減少傾向が大きくなっている。今後も人口増に取り組んでいくが、現実的な面で考えると、どうしても今後も減少が見込まれるため、このような再編の決断をした。今後においては、跡地利用もしっかり行い、地域が活性化できるような取り組みも進めていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

(住 民) 日本、世界でも人口がどんどん減る可能性があるが、その中で負け組になるか勝ち組になるかということだと思う。日本全国で減少しているからしょうがないと思うのではなく、例えば利根川あたりのある自治体では、企画に優れた方がいるのだと思うが、色々と斬新な政策を立てて、茨城県側から人をたくさん引っ張ってきて、人口が増えている。魅力があれば人は移住してくるので、勝ち組になってほしいと思う。

(保護者) 今5年生の子供たちが中学3年生になる4月に統合することになると思う。五郷小の5年生、4年生、3年生のお子さんがいらっしゃる保護者の間で、いま色々な情報が錯綜している。この間も保護者の方々と話した時に、人によっては、入学するときどちらに行くか選べると思っていたらいらっしゃる方がいた。5年生の息子からは、友達の誰かが1年から南中に行くと言っていたというような話も聞く。その他、そのうち部活動がなくなるなどの話もあった。統廃合はもう致し方ないことだと思っている。特に、今5年生の代は早野中学校に入学して2年間過ごした後、南中学校に受験生となる中学3年生の4月に移動することになる。心理的な負担もかなり大きいと思う。その辺りを考えて、早めに情報を教えていただけると嬉しい。

また、制服やジャージはどうするのかといったところも多く保護者は心配していると思う。南中とは校則が違うようで、南中は靴や靴下が自由であるようだが、早野中は白に決まっている。子供同士が多感な時期に一緒になったとき、そういう細かいところでも何かあると思う。保護者も統合して靴などを全部買い換える必要もなくなるかと思うので、両校で連携を取っていただき、最初から統一しておいていただけるようなご配慮があると非常に嬉しい。

(事務局) まず、これからまたPTA総会、自治会長連合会の総会でも同様の説明をしていき、情報提供を行いたいと考えている。制服等については、統合準備委員会というものを設置して、両校のPTA、地域の代表の方々に話し合いをしていただくことになるが、その中で学校統合準備会というものを設置し、そこで制服をどうするといったことなどの話し合いが行われていく。

制服については、例えば統合前に着用していた制服をそのまま使用できるというような、保護者の皆様に負担がかからないような方向での話し合いをしていきたいとは思っている。

また、今のところ教育委員会では学校選択制について、西陵中と富士見中の統合時に学校選択制を導入した結果、統合時に中学3年生になる2年生が9名、1年生がゼロという状況になったので、適正な学校運営をしていくためには、選択制を導入せず、統合時に3学年が一緒に行っていただくような形が望ましいと考えている。

(保護者) (第二次実施計画の) 今後のスケジュールに令和5年から交流事業の実施という内容が入っているが、どういった事業を考えているのか。具体的にはどのようなことを行うのか。

(事務局) 令和5年度から段階的に、例えば総合学習というような学習があり、その中で授業として交流することが考えられる。あるいは、いま児童生徒はタブレットを活用しながら授業をしており、そのようなICT機器を使ってオンライン上で交流を図るといったことも考えられる。南中と早野中の方で協議を詰めていき、どのようなことができるか検討の上で段階的に進めていただけると(学校から)伺っているので、ご了解いただければと思う。

(住 民) 質問ではないが、この五郷小、早野中は、茂原の中心部だと思う。この中心部から教育関係の施設がなくなるのはどうなのか。南中でさえ、今後分からないのではないか。いかに市役所を取り巻く中心部に教育機関を設置していくのかということを考えて、そこに資金や人を投入する。

また、専門職の先生がいないというお話があったが、全国から集めたらどうか。国に縛られて、ここからは採用できないというように考えているような気がしてならない。

それから少子化で、学校がなくなるのはしょうがないということだが、東京都の大島や小笠原には学校がある。東京都としては色々な方法で先生方や医者投入しているので、そのやり方で茂原もやるのはどうか。少人数制で行こうという考

え方もあると思う。その考えも持ちながら、先に進んでもらいたいと思う。東部台文化会館や、市役所の隣の文化会館もいつ倒れるか分からないようなひび割れの状態で放置している。文化教育の茂原市とは言えない。一生懸命考えて、資金、人を投入しないと（人が）集まらない。

- (事務局) 早野中学校はクラス数が少ないので授業時数も少なく、県の配当にはなるが、1人を充てることができない状況である。その中で、(授業日のみ)講師を充てて授業を受け持っていていただいている。授業ができないということではないので、ご理解いただければと思う。
- (保護者) ファミリーマートとサトペンの交差点を通過して、自転車で通学することになるのかと思うが、交差点について例えば2車線化するなど、何か具体的な整備計画はあるか。
- (事務局) ファミリーマートの交差点については、県道茂原大多喜線ということで、千葉県が中心となって交差点改良事業を行っている。一部工事も行い、今後も用地買収等を行いながら、右折レーンをつけるような整備を予定している。接続する市道もあるので、市も県と一緒に取り組んでいる。県からもまとまった用地が確保でき次第、工事を行っていききたいとの話を伺っており、茂原市も協力していく。
- (保護者) 市としてどのくらいのレベルの道路が通学路として適しているというような、何か基準のようなものがあるのか。また、基準がある場合は、その基準に適さない道路が資料の地図で示されている道で、そこを整備するという計画になっているのか。この道路以外に適さない道はないのか。
また、市道1級8号線についていくつか伺う。資料で塗りつぶされている真ん中ほどまでの箇所は整備されるようだが、その先の「びいの」さんまでの道もおそらく歩道がない。ここの整備予定はあるか。また、整備予定の歩道は、線を引くだけ、少し段が上がる、あるいはガードレールがつくなどにより、安全のレベルが異なるため、具体的にどのようなようになるか伺いたい。
最後に、用地買収の後に工事を行うということだが、この用地買収は計画通り順調に進むものなのか。
- (事務局) 1級8号線について、資料で黒塗りされている先の箇所については、現況の測量は終了しているが、今のところ、具体的にいつ頃からこの区間をやってくのかというのはまだ決まっていない。今はセンターラインが入っていない、まだ道路改良が終わっていない区間があり、この区間をまず優先的に整備をしている。そして、具体的な歩道の構造については、歩車道境界ブロックという20センチほどの縁石を両側に設け、車道と歩道を区別するような道路整備を行う予定である。用地買収については、令和4年度の現状では、面積ベースで約6割ほどのご協力をいただいている。残りの用地についても今後交渉を行い、取得していきたいと考えている。
- (事務局) 通学路については、教育委員会で指定するものではなく、学校保健安全法に基づいて、保護者の方と学校でどういった通路や経路を通ったら安全かという形で話し合っていたものを通学路としている。その中で、本市では茂原市通学路交通安全プログラムというものがあり、これに基づいて学校を通じて挙げていただいた箇所について、危険箇所という認識のもと関係機関と話し合い、対応策を講じている。
- (保護者) 五郷地区から南中に通う子供たちは、この黒塗りになっている道路を通学路として使用することになるのか。「びいの」さんまでの箇所は、統合までに特に整備する必要がないという理解でよいのか。
- (事務局) こちらの箇所については、この先についても危険箇所という形でご意見をいただいているが、対応策の検討において、市道3級道路の迂回路の整備を対応策としている。五郷地区に関しては、この箇所の他に6ヶ所が危険箇所という形でご報

告をいただいているが、今回の統合に伴う通学路の安全確保というところでは、最も五郷地区の方が南中に行く場合に通るであろうという予測のもと、この黒塗りの区間を最優先で整備を進めている形になる。他の箇所についてはウェブサイトに掲載しているので、ご参照いただき、もし他にあれば学校を通じて担当までご連絡いただければと思うので、お願いします。

- (住 民) 先ほどの説明の中で、小学校1校に対して中学校1校というのがよくないという話があったが、確かにそのような話かもしれないが、私の中学校時代は皆そう(1小1中)だった。しばらく経って、いまは改善されており良かったと思っていたら、また今度本納で小1中1にしようと考えているようだ。どうしてまずいことを繰り返すのか。教育委員会ではどのように考えているのか。
- それから、五郷地区も含め、今までに学区が見直されてきている。学校は地域の中でいろいろと行事があって、学校の生徒さんと交流しながら発展していくのは非常に良いことだと思っているが、一貫性のない学校再編が行われると、先ほどの意見にもあったようにまちづくりをどのように考えるのかという話になるので、考えながら行ってほしい。
- また、新治小学校が本納小学校と統合することについて、小規模校だからしょうがないということもあると思うが、新治小学校は全国でも非常に優秀というか、評価されるような活動があった。それも今回の統廃合で消えてしまった。そういったものも、茂原市の教育に携わっている方々はどのように考えているのか、お伺いしたい。

- (事務局) 学校と地域との関係については、たしかに学校はそれぞれの地域の中心地にあつて、そこを中心に色々な地域の結びつきや、お祭りなど多様な取り組みが行われてきたということは事実だろうと思う。ただ、私どもとしては、やはり子供たちの教育環境という観点から、子供たちにとってどのような学校がよいのか、様々な意見を踏まえて考えた結果として、今回統合ということを選択した。先ほど申し上げた通り、学校がなくなった跡地については、地域の結びつき、地域のにぎわいが失われないように、しっかり跡地利用に取り組んでいきたいと考えている。
- また、新治小や地域の1小1中の関係のお話をいただいたが、学校再編については、単なる数合わせということで進めているつもりはない。それぞれの地域に応じて、今後必要な学校は(児童生徒が)少なくなっても残さなければいけないと考えており、保護者や地域の方々の意見も踏まえて、子供にとって一番良い環境を確保するために、今後も学校の改善に努めていきたいと考えている。

- (保護者) 本日のこの説明会の参加者の人数を教えてください。

(事務局) 49名である。

- (保護者) 引き続き意見として、私は子供が3年生で、このまま統合の準備を進めていけば、令和8年4月から南中学校に通うことになる。本日お話を聞いてる中では、特段、統合に関して反対意見はないだろうと。地域住民の方は、過去の諸施策についての質問が多く、私としては、今後子供たちがしっかりした教育の環境の中で学校生活を送ってほしいと願っている。したがって、令和8年4月にきちんと(南)中学校に入学できるように、しっかり市と、また学校と保護者、住民の方がスクラムを組んで、前進できるように進めていっていただきたい。

- (保護者) 令和2年4月1日に西陵中と富士見中が統合されて、そのときの部活動の統合についての具体的な事例を知りたい。もしその事例がなければ、今後、早野中と南中が統合するにあたっての方向性を伺いたい。子がこの4月から早野中に入学するが、希望する部活がないと言っている。下の子はもちろん(南中に通うことが)決まっているので、色々そのような話になるが、入る中学校によって、活動に差があると感じている。統合とはまた違うかもしれないが、この4月から早野中に入学した場合も、例えば地域で色々部活が選べるような環境になるのかとい

うことを知りたい。

また、西陵中と富士見中が統合されたとき、西陵中の方は（生徒が）少なかったとのことだが、富士見中に移ったとき、馴染みのある西陵中の先生方も富士見中に移ったのかを知りたい。今の五郷小の4年生や5年生は、早野中に1年間もしくは2年間通い、中3や中2になった時に南中に通うことになると思うが、先ほどあったように受験が控えているのに知ってる先生がいないとか、今まで頼りにしてきた先生が誰一人いない中、少数派になってしまって、苦しい思いをして通うことがあってはいけないと感じている。少数派になってしまう早野中の生徒が南中に行ったときに、ちゃんとケアしてくれる先生方がいる環境を作っていただけるのか。

(事務局) 西陵中と富士見中が統合するときに（西陵中の生徒は）9名だった。学校選択制もあり、クラス編成でどのように分けたかはちょっと分からないが、9人の子たちが入学ということになった。

部活動については、やはり生徒数が少ないため、資料15ページにあるとおり野球部やサッカー部では団体スポーツということでチームが作れず、早野中も他の中学校と合同チームということで参加せざるを得ない。多くのことを生徒には経験してもらいたいが、部を数多く作るにはどうしても指導者となる教員数も少なく、1人体制でたくさんの部活動というわけにもいかず、可能な限り複数配置をしながらということになると、設置する部活動も限られてきてしまう。今年度あった部が来年度になってなくなるというところには至っていないかと思うので、このような部活が残った中での選択にどうしてもならざるをえない。

それから、今話題になっているが、部活動の地域移行を進めるよう国からも示されており、土日の部活動については地域の中で子供たちが活動できるような体制を整えていこうということで、茂原市でも段階的に行っていく方向性でいる。時間がかかってしまうとは思いますが、子供たちが興味関心のある運動あるいは文化活動の場が広げられるようになっていく。

また、先生の異動については、来年度に本納小と新治小が統合するが、その中で子供たちが一緒になったとき、気持ちの面で寂しい思いをさせないようにということで、県の方と話し合い、できるだけ先生方の異動について配慮していただくよう要望した。中学校においても、先生の異動は学校長も含めて茂原市の教育委員会の方で協議をしながら、具体的に何人になるというのは難しいが、県の方に要望していく。

(事務局) 緑ヶ丘小学校と二宮小学校が統合された際も、両校の先生方が3分の1くらいずつ、あと他校からの異動が3分の1くらい的人事異動であったかと思う。同じように県の方で配慮いただけるのではないかと思う。

(保護者) 今回の南中と早野中の学校再編ではないが、いま五郷小学校が全学年で9学級で適正規模を満たしていない。小学校の9学級から11学級は、統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討するとなっているかと思うが、具体的には、どのような検討をしているのかお聞きしたい。適正規模を満たしていない小学校が西小、五郷小、鶴枝小とあるので、先ほどの西陵中の例ではないが、せっかくこども園を五郷小の隣に作ったのに、結局五郷小がなくなってしまってこども園だけが残るのは、将来を見据えた考え方をしていただきたいと思っている。

(事務局) 現在、計画の中に記載しているように、西小学校、五郷小学校、鶴枝小学校は、適正規模を満たさないため、あり方について検討することとしている。ただ、具体的に今どのような検討かということまでは至っていないので、学区の編成等、色々なことを考えながら見直しをしていくことになるかと思う。

■今後のスケジュールについて

(事務局) 今後の進め方について、現段階の事務局の案を申し上げる。

本日の内容について、4月から5月にかけて開催される、南中学校、早野中学校、また、進学先が変更となる五郷小学校の各PTA総会、そして、五郷地区及び鶴枝地区の各自治会長連合会の総会で、あらためてご説明させていただく。各総会でご理解をいただいた上で、令和8年4月の統合に向けて準備を進めてまいりたいと考えている。

また、この後、来週の金曜日に、南中学校の体育館で夜、同様に説明会を開催させていただく。

5 その他

6 閉会